

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群
スポーツウエルネス学学位プログラム(博士前期課程)

2022 年度入学生用

スポーツプロモーション分野
ヘルスプロモーション分野

1. 履修方法

(1) 以下の専門科目（必修）4単位を必修とする。

- ・ スポーツ・ヘルスプロモーション論概論 2単位…標準1年次に申請
- ・ スポーツ・ヘルスプロモーション方法論 1単位…標準1年次に申請
- ・ スポーツ健康研究方法論Ⅰ 1単位…論文提出年度に申請

*必修専門科目の3科目は、必ず履修すること。

(2) 分野共通の専門科目（選択）から、スポーツ健康研究方法論Ⅱまたはスポーツ健康研究方法論Ⅲの1単位、選択した分野の専門科目（選択）から、所属領域開設科目9単位及び隣接領域開設の講義科目2単位を中心に、計12単位以上を履修する。〔備考〕欄も参照のこと。

*研究方法論について（Kdbにより、シラバスを参照）

研究方法論の単位の取得には、研究指導教員の指導のもとに、

スポーツ健康研究方法論Ⅰ：研究計画を立案し、研究テーマの設定、テーマ届けを提出する。

スポーツ健康研究方法論ⅡorⅢ：各自の設定した研究テーマに基づき、研究を実施し、学位論文中間発表会に終日参加し研究進捗状況などについて発表を行う。

○○研究方法論ⅣorⅤ（所属領域開設科目）：研究計画に基づいて修士論文・特定課題研究報告書の作成を行う。

分野ごとに選択必修が設けられていますので、それを満たすように履修をする必要があります。次ページの基本履修プランを参考にしてください。

基本の履修プランは

分野共通から

スポーツ健康研究方法論Ⅱ(1単位)*

所属分野から(スポーツプロモーション分野かヘルスプロモーション分野)

選択した自分の領域の

特講(2単位)×2=4単位・・・領域教員2名のそれぞれの科目

演習(2単位)×1=2単位・・・研究指導教員の科目

演習(1単位)×1=1単位・・・研究指導教員の科目

○○研究方法論Ⅳ(2単位)*・・・所属領域開設科目

計9単位

分野内の隣接領域の

特講(2単位)×1=2単位 計2単位

以上

合計12単位

*は修論や報告書作成年度に履修する

スポーツプロモーション分野用〔備考〕欄の抜粋

スポーツプロモーション分野選択者は、選択専門科目から下記の(a)(b)を選択必修とする。

(a) 分野内の下記の特講科目のうち3科目以上(所属領域内2科目、隣接領域内1科目)

スポーツプロモーション論特講

スポーツイベント論特講

スポーツマネジメント論特講

高度競技マネジメント論特講

プロスポーツマネジメント論特講

(b) 分野内の下記の研究方法論Ⅳまたは研究方法論Ⅴのうち1科目を選択必修とする。

スポーツプロモーション研究方法論Ⅳ

スポーツプロモーション研究方法論Ⅴ

スポーツマネジメント研究方法論Ⅳ

スポーツマネジメント研究方法論Ⅴ

(所属領域開設の研究方法論Ⅳ又は、研究方法論Ⅴを必修とする。)

ヘルスプロモーション分野用〔備考〕欄の抜粋

ヘルスプロモーション分野選択者は、選択専門科目中の下記の(a)(b)を選択必修とする。

(a) 分野内の下記の特講科目のうち3科目以上(所属領域内2科目、隣接領域内1科目)

ヘルスプロモーション論特講

健康開発プログラム論特講

ストレスマネジメントシステム論特講

コミュニティメンタルヘルス論特講

(b) 分野内の下記の研究方法論Ⅳまたは研究方法論Ⅴのうち1科目を選択必修とする。

ヘルスプロモーション研究方法論Ⅳ

ヘルスプロモーション研究方法論Ⅴ

ストレスマネジメント研究方法論Ⅳ

ストレスマネジメント研究方法論Ⅴ

(所属領域開設の研究方法論Ⅳまたは、研究方法論Ⅴを必修とする。)

(3) 研究主題に関連する他分野各領域開設の選択専門科目の講義科目から4単位以上、両分野開設の関連専門科目から4単位以上の計8単位以上を履修する。

*スポーツプロモーション分野（ヘルスプロモーション分野）の方は、ヘルスプロモーション分野（スポーツプロモーション分野）開設の専門科目（選択）の講義科目すなわち特講科目から2科目以上を履修する。専門科目（関連）は、どちらの分野に開設されている科目でも自由に4科目以上履修する。

基本の履修プランは、
各領域が開設する専任教員担当の2単位の特講8科目の中から、
他分野(ご自身が所属する分野ではない分野)開設の
特講(2単位)×2科目＝4単位
両分野開設の専門科目(関連)(1単位の中から)
(1単位)×4科目＝4単位
以上 合計8単位

(4) 大学院共通科目、他専攻及び他研究科の開設科目を専門科目として履修することができる。

*Kdbで確認をすると、大学院共通科目という位置づけで、開設されている科目があるので、それを専門科目の単位にすることができる。

*また、つくばキャンパス、東京キャンパスの他学位プログラムや他学術院の開設科目を専門科目として履修することもできる。例えば、東京キャンパスには、人文ビジネス科学学術院があるので、その開設科目や、同じ人間総合科学学術院人間総合科学研究群ではあるが、カウンセリング学位プログラムの開設科目も履修できるということである。研究主題に関連する科目を履修することが原則であるため、履修の際には、研究指導教員との相談および授業担当教員に連絡を取り、履修の許可をもらう。

(5) 単位互換制度に基づく他大学大学院の授業科目を専門科目として履修することができる。

(1) 4単位、(2) 12単位、(3) 8単位で、合計が24単位です。
修了要件を満たすには、残り最低6単位を履修する必要があります。
修了に必要な最低条件である残りの6単位を(4)や(5)で履修してもよいし、
(2)や(3)を増やしても良い。